

11月8日(水)

基礎看護学実習Ⅱ前演習・安全教育 (1年生)

教員による病棟実習を想定したシミュレーションを見て、問題点を発表しています。

指導者への行動計画発表や、患者のバイタルサイン測定の様子——。不十分な報告内容から生じうるリスク、患者の症状観察で見逃していた点はなかったか、また、言葉遣いや態度は適切か…様々な視点から考察しました。



11月10日(金)

消防訓練

今年の消防訓練では、第一発見者や初期消火も学生が担当しました。さすが3年生、屋内消火栓の操作も迅速かつ冷静。



11月17日(金)

診療・治療関連技術Ⅱ(検査)(2年生)

手順を一つ一つ確認しながら、真空採血管と翼状針を用いた採血の演習を行いました。

今回は、実際に針を刺すところまでの実施はしませんでした。学生からは「確認行為の重要性を実感できた」「手順だけに集中せず、患者の状態も確認しながら進めることが大切だと感じた」などの感想が聞かれました。



11月19日(日)

宮古市を会場として行われた令和5年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練に、宮古高看2・3年生15名も参加しました。

仮想病院のスタッフとして、搬送された傷病者の管理業務を務めました。

普段の講義や、病棟実習では体験できない災害医療の現場を学ぶことができました。